ヤコブ物語

１年目/６月/第１週

聖書物語シリーズ

・テーマ　必ず約束を守られる神様

・聖書箇所　創世記25章～28章

・暗唱成句 「見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこに行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」創世記28：15

本論 I　　ヤコブの系図

アブラハム→イサク→エサウ（毛深い：ふさふさちゃん）ヤコブ（エサウのかかと＜ヘブル語：アケブ＞をつかんで生まれてきたのでヤコブ：押しのけ君）

エサウとヤコブは双子だった。

神様の預言「二つの国があなたの体内にあり、二つの国民があなたの胎から出て分かれる。一つの国民は他の国民より強くなり、兄が弟に仕える」

当時は親の祝福を継ぐのは長男とされていた。しかし、神様の約束は違った。エサウは猟師で野の人、ヤコブは羊飼いで穏やかな人となった。

兄エサウを父イサクが愛し、弟ヤコブを母リベカが愛した。

本論 II　　長子の権利　創世記25：29～27：40

目先のことしか考えないエサウ

ヤコブが煮物を煮込んでいる時、エサウが飢え疲れて野から帰って来た。エサウは

ヤコブにレンズ豆の煮物欲しさに長子の権利を売ってしまう。エサウは長子の権利

を、ただ空腹というだけで売ってしまう。

「こうして、エサウは長子の権利を、軽蔑したのである」創25：34

神様の計画を自分の力でかなえようとするヤコブ。

エサウの弱みにつけ込み、レンズ豆の煮物でで、長子の権利を買い取る。その後、ヤコブはエサウのふりをして、料理を作り、毛皮をきてイサクを騙し、長子の祝福も受ける。

本論 III　　天のはしご　創世記27：41ー28：22

ヤコブの逃避行

エサウはヤコブは恨み彼を殺そうとする。母リベカの兄ラバンの所に逃げるヤコブ（ヤコブにとってはおじさん）。ヤコブはひとり、石を枕にして孤独に荒野で野宿。

孤独なヤコブに出会われた神様

ヤコブはその場所で、天使が地上に上り下りしているはしごが立てられている夢を見る。そして、神様から約束の言葉を頂く。創世記28：13

ヤコブは自分が枕にした石を取り、それを石の柱として立て、その上に油を注いだ。そしてその場所をベテルと呼んだ。

アブラハムの契約（約束）はイサク→やこぶと受け継がれた。

適応

イエス・キリストを信じた私達は、みんな神様の契約の子供、ヤコブである。

一人一人に神様との契約がある→使命

まだ、子供で何の使命があるかわからないかも知れないが、そのことを思い、求めてみよう。

そして、神様の約束を信じ続けよう。